

ホホバ

頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

暖かい春の日差しに誘われて散歩に出ると、くしゃみが止まらなくなってしまうったり、目が痒くてたまらない、といった事はありませんか？花粉症をはじめとする、つらいアレルギーの季節を上手に乗り切りましょう。

春はアレルギーの季節？

「アレルギー」というと、この時期に急増する花粉症や、子供に多いアトピーなどが浮かびます。毎年恒例で、すっかり春はアレルギーの季節となっていました。特にアレルギーがなくても、お肌の弱い「敏感肌」の方は、この季節

は肌が過敏になって、調子が悪くなりがちな季節。

お肌の赤みやかぶれ、痒み、湿疹等の症状はアレルギーだけでなく、お肌の状態が不安定になってくる春先には多く見られるもので、お肌が様々な刺激に敏感になり過ぎている状態です。

敏感肌は、季節の変わり目や体調、ストレス等、様々な要因がきっかけ



となって症状が現れますが、この時期は花粉症などのアレルギーが原因で、お肌が過敏になり、いつも使っている化粧品にも反応してしまい、症状が現れる、という事があります。

お肌を刺激から守るには

アレルギー症状がお肌に現れてしまうと、痒みや、お化粧ができなくなってしまう等、毎日の生活に支障をきたしてしまいます。

まずは、アレルギーとなるものをお肌に触れさせないために、食べ物、着る物から見直しましょう。

さらに、徹底した保湿ケアと、ホホバやUVカット等でお肌にベールを張ることも大切です。

春のアレルギー対処法

現在、日本人の三人に一人は、何らかのアレルギー症状を持っているといわれています。

特に、春は花粉の飛散や季節の変わり目でお肌や体調が不安定になることから、症状が出やすい季節です。効果的な予防・対処を心掛けましょう。

◆日本人の3割がアレルギーに悩んでいる

現在、日本人の三人に一人は、何らかのアレルギー症状を持っているといわれています。

小さな子供からお年寄りまで、幅広い層が悩まされているアレルギーですが、なんと、いまだに年々増加していています。

スギ花粉の増加や、身のまわりに化学物質が増えたり、大気汚染、

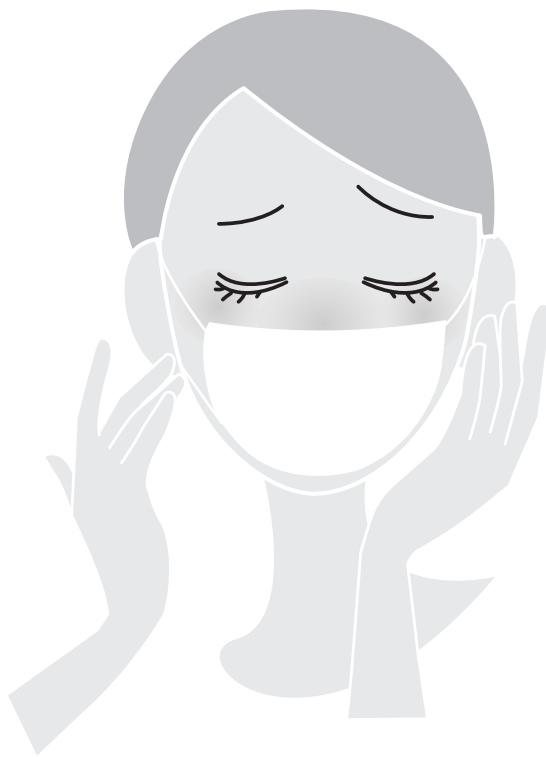
↓ 食事の欧米化等、さまざまな要因が増加の原因になっています。

アレルギーの原因となるものには、

- ・花粉
- ・ハウスダスト
- ・食品
- ・金属
- ・化学繊維
- ・紫外線
- ・ラテックス(ゴム) 等があります。



とりわけ、春はアレルギー症状が悪化しやすい時期。

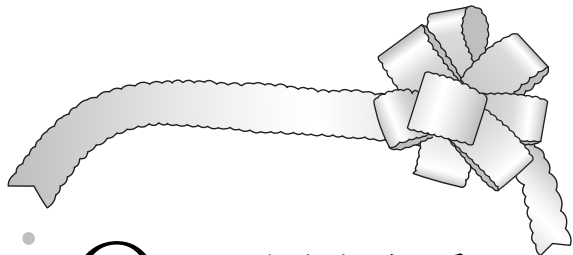


↓ アレルギーでお肌に症状が出てしまうと、お肌が過敏になってしまう、

どんどん悪化してしまう事が多いので、正しくケアして悪化を防ぐ事が重要です。

◆花粉症だと思つたら

アレルギー症状とは、免疫が過剰になって、アレルギーとなる様々なものに反応してしまう事ですが「今年もまた花粉症の辛い季節が、」と思つていたら、実は他のアレルギー



Q いつもホホバを愛用しています。

夜、お風呂上りには、たっぷりと愛用していますが、会報のお便り等で、朝晩のお手入れに、と書いてあるのを読みました。朝も使って大丈夫なんでしょうか？油焼けなどないでしょうか？



A いつもご愛用ありがとうございます。

ご心配される「油焼け」は、オイルが熱や空気に触れて酸化し、劣化する事で起こりますが、ホホバはオイルではなくワックスに分類され、非常に高い安定性を誇りますので、どうぞ安心してご利用くださいませ。

また、紫外線・日焼け対策には、UVカットのご利用をおススメします。

◆アトピー肌と乾燥肌

アトピーは、小さな子供に多く、成長と共に軽減する事が多いのですが、成人してから発症する方も増加

や黄砂、風邪が原因だったという事もあるのです、自分のアレルギーは何が原因か病院で調べておきましょう。例えば、黄砂は粒子が花粉よりも小さく、花粉用マスクでは防げませんから、ウイルスの侵入を防ぐ風邪用マスクがおススメです。

していません。

アトピーや乾燥肌は、乾燥すると痒みが強まりますから、保湿のお手入れが非常に重要となります。

痒みを軽減させる為には、肌着には化学繊維は避け、熱いお風呂、長風呂はせず、身体を

洗う時はスポンジやボディタオルは使わず、手で優しく洗いましょう。



◆徹底保湿でお肌を守る

アトピー、花粉症、その他のアレルギーで、お肌に症状が現れている時には、徹底的に刺激を避けた上で、保湿のお手入れが一番です。

洗顔は、直接指が肌に触れない位たっぷりの泡で優しく撫でる様に洗い、すぎはぬるま湯で十分に。しっかりとホホバを伸ばした後、痒みが出る部分には日に何度でも、重ねづけする事をおススメします。